

# 小樽市新総合体育館ニュースレター

Vol.05

## 新総合体育館整備事業の延期について

市では、令和5年度に「小樽市新総合体育館基本計画」を策定し、計画に沿って事業を推進してきました。しかし、令和7年1月に入札公告を行ったところ、5月の期限までに事業者からの参加表明がなく、入札を中止しました。今回は、入札が中止となった背景と事業の延期についてご説明します。

### どうして入札参加者がいなかったのか

市では、入札中止後、原因を検証するために、複数の大手建設事業者等に対してアンケート調査を実施しました。その結果、事業者からは以下のとおり回答がありました。

Q	入札参加に至らなかった理由を教えてください。
A	<ul style="list-style-type: none"><li>▶ 他事業の影響により参加できなかった。</li><li>▶ 参加資格要件が満たせない、または実施体制が組めなかった。</li><li>▶ 事業費が不足していた。</li></ul>

アンケート調査で最も多かった回答は「他事業の影響」で、中には「着工時期が令和11年度以降でないと検討が困難」といった回答もありました。現在、道内では数多くの大型建設事業が行われており、多くの大手建設事業者は、本事業へ参加することが難しくなると考えられます。

また、「事業費が不足していた」との回答があった事業者については、希望する事業費についても回答してもらいましたが、その額は、市が試算する事業費と約1.2～1.5倍もかけ離れており、道内の建設単価が想像以上に急騰している実態が分かりました。

### 建設業界の状況

現在、国内における建設費は、建設需要の増加、資材価格の上昇、労務費の上昇と人手不足などにより急上昇しています。特に道内においては、札幌駅周辺地区における再開発事業や半導体関連事業等により需給バランスが崩れ、他県に

比べて建設費が急騰しています。このため、道内の他の自治体でも、本市と同じように入札が不調となるケースが続発しています。

### 再入札に向けた検討

市ではこの度の入札中止を受けて、令和7年8月、市役所内に「小樽市新総合体育館整備事業再入札検討委員会」を設置し、再入札に向けた課題について検討を進めており、これまで「施設規模縮小の検討」や「入札参加要件の見直し」「PFI手法導入」など多項目にわたっての検討を行ってきました。その結果、「施設規模の縮小による事業規模の圧縮」や「財源の確保による負担減」などについては引き続き検討が必要と考えられますが、これらの検討には一定の時間を要することは避けられず、さらに、現在、道内では大型建設事業が集中し、建設費の高騰が続いている状況であることを踏まえると、現時点で再入札に向けて直ちに進めることは困難であると考えられます。

このため、本事業の実施時期は一定程度先送りすることとし、今後の具体的なスケジュールについては、道内建設事業の動向や再入札に向けた検討状況を踏まえ、改めてお示しします。

### 今後について

以上のとおり、新総合体育館の整備については、一定程度先送りすることとしましたが、引き続き実現に向けて、検討は進めていきます。

また、延期期間中、現総合体育館についても、トイレ等の故障箇所について計画的な修繕を実施し利便性確保に努めますので、皆様のご理解とご協力のほど、よろしく願いいたします。

